

ピースツーリズム推進懇談会（第2回）

平成29年（2017年）7月31日

目次

第1回懇談会における意見交換の内容

- 1 「平和」への思いの共有と被爆の実相を守り、広め、伝えるための情報発信について
 - (1) 対象者 3
 - (2) 伝える内容 3
 - (3) 発信方法 4
- 2 「平和」をテーマとしたルート設定や「平和」に関連する施設等について
 - (1) ルート設定に当たっての考え方 5
 - (2) 平和に関連する施設や場所(「場」) 6
 - (3) 配慮すべき事項 8
- 3 世界の多くの方々を迎える「市民」の積極的な関与について
 - (1) 迎える際の対応 9
 - (2) 関与のあり方 9

第1回懇談会における意見を踏まえたヒアリング等の調査について

- 平成27年 来広外国人観光客アンケート調査(抜粋) 10
- インタビュー・ヒアリング調査の対象(案) 12

ピースツーリズム推進の目指す姿の方向性(案) 19

今後の検討の方向性について(案) 20

第2回ピースツーリズム推進懇談会の意見交換テーマ 21

次回懇談会の日程 22

第1回懇談会における意見交換の内容

1 「平和」への思いの共有と被爆の実相を守り、広め、伝えるための情報発信について

(1) 対象者

意見	発言者
アジアの方も対象に含めた方がよいのではないか。	水本委員 前田委員
修学旅行生なども対象に含め、日本語での発信も必要だと思う。	辻委員

(2) 伝える内容

意見	発言者
被爆前の歴史、エピソードも案内できるとよい。	水本委員 辻委員
当時市内に在住していた外国人も被爆したエピソードも視野に入れたほうがよい。	水本委員
「被爆体験」を原点とし、こんな悲惨な体験を二度と起こしてはいけないということ を国内外の多くの方に伝える。 夜の過ごし方を加えることにより、多くの方に受け入れられる。	原田座長
廃墟の中で車を引いてパンを売ったところから始まるアンデルセンの歴史や、広 銀や広電の歴史など、企業の歴史と精神を伝える。	渡部委員

(3) 発信方法

意見	発言者
御幸通を含めた郷土資料館、広島城、水道資料館、江波山気象館の専門家が持つ情報を伝える。	水本委員
建物を見るだけでなく、被爆時までにどんな営みをし、8月6日に何が起こったのか、イメージできるコンテンツの作り方、説明の仕方が必要である。	津村委員 原田座長
そこに行けばある程度理解できるような説明板を設けることが必要である。	原田座長
映像でその過程を見られるようにする。	古谷委員

2 「平和」をテーマとしたルート設定や「平和」に関連する施設等について

(1) ルート設定に当たっての考え方

意見	発言者
市域に限定したり、1つのコースに限定するのではなく、幅広く市外のコース等も考えてもよい。	前田委員 水本委員
被爆体験を伝えることは大切だが、文化、歴史、文学などの分野の被爆後の動きも含めたコースができないか。	原田座長
高齢者には自分の足で歩くのは難しい。市内循環バス「めいぷる一ふ」を使用して巡る。	古谷委員
川のそばで、あるいは海のそばで、緑の中で、自分の思いを解き放ち、座って静かに考えるということも必要である。	渡部委員
いろんな観点から来広者のニーズに対応できるよう、自然、博物館、記念碑、アクティビティなど、自由に選択ができるようにしてあげればよい。	前田委員
いくつかのエリアがあり、エリアとエリアの間を線で結ぶというイメージでやってはどうか。	津村委員
広島に住んでいる人も意外と気付いていないところを気付かせる切り口を提示する。	水本委員

(2) 平和に関連する施設や場所（「場」）①

意見	発言者
<p>平和な世の中を自分たちで築いていこうという新しいエネルギーが沸いてくるような場所、来た人達が勇気付けられ自分に何が出来るか考えられる第一歩となるようなものも選ぶ。</p>	<p>阪谷委員 平尾委員</p>
<p>平和だから広島は素晴らしいと思ってもらえる場所、広島がこれだけ回復し発展しているというような心が安らぐところも選ぶ。</p>	<p>古谷委員 辻委員 津村委員</p>
<p>生きて広島を伝え続けている被爆樹木には存在の意味と深い価値があるが、それは被爆を証言するものとしてだけでなく、もっと広く大きな哲学を共有できるものではないか。</p>	<p>渡部委員</p>
<p>アジアであれば韓国人慰霊碑、東南アジアであれば広島で学んだ東南アジア学生のための興南寮で被爆した人たちのための碑、中国については、その前の日清戦争に軍都広島がどう関わったのかも関心の対象である。</p>	<p>水本委員</p>
<p>広島城、縮景園、饒津神社の被爆手水鉢などもよい。</p>	<p>辻委員</p>
<p>栗原貞子や峠三吉の詩などがある所(碑)を巡るのもよい。 広大旧理学部校舎や旧広島陸軍被服支廠の保存・活用を市関係部局と連携して進める必要がある。</p>	<p>原田座長</p>
<p>世界平和記念聖堂、縮景園内のイチョウの木、袋町小学校は印象深い。広島 の3つの美術館はそれぞれ個性が違い魅力がある。</p>	<p>古谷委員</p>
<p>宇品の港から見る島影など、瀬戸内海は特別な場所である。</p>	<p>渡部委員</p>

(2) 平和に関連する施設や場所（「場」）②

意見	発言者
「場所」ではなく、人と人が関わる「場」も考えたい。	平尾委員
御幸通を含めた郷土資料館、広島城、水道資料館、江波山気象館の専門家が持つ情報を伝える。【再掲】 平和記念公園、平和大通り、河岸の各緑地は広島復興の最大の特徴の一つである。 広島を訪れる教育関係者には、本川小学校・袋町小学校の資料館などを提示するのもよい。	水本委員
広島城を拠点として縮景園や通信病院を巡るエリアや、比治山から広島駅を巡るエリア(現代美術館、頼山陽文徳殿、川の駅)もある。	津村委員
平和記念公園内の旧慈仙寺墓石、興南寮跡のほか、似島、江田島など広島 の島々も考えられる。	前田委員

(3) 配慮すべき事項

意見	発言者
「実際に来ている外国人がどのように考えているのかなどヒアリングが必要である。	辻委員
平和記念資料館が平成30年7月にリニューアルオープンするまでの間の入館者への配慮が必要である。	渡部委員
「平和」を原点とすることは、「被爆体験」が原点とならなければいけない。市民の意識や広島に来られた外国人旅行者の思いを調査する必要がある。	原田座長
外国人旅行者のリピーター率が知りたい。	渡部委員

3 世界の多くの方々を迎える「市民」の積極的な関与について

(1) 迎える際の対応

意見	発言者
市民一人一人が自分の言葉で広島を語れる環境をつくるのが大事である。	渡部委員
AR等によって説明するよりも、誰かが説明することができないか。	辻委員
人と人がどう関わるか、そこにいる人との触れ合い、心を動かされる体験が、生み出されるとよい。	古谷委員 平尾委員
シーズンに入ると、ボランティアガイドや平和記念資料館のピースボランティアといった方々の確保が難しい。例えば、ボランティアガイド受付の窓口を一本化することが、温かく迎えることにつながる。 温かくおもてなしをするような意思をもった人には、例えば、簡易なものでよいのでバッジを作り、何かあればこのバッジをつけた人に声をかけてくださいという意思表示をするのもよい。	原田座長

(2) 関与のあり方

意見	発言者
一部の関心のある方々が実施する特別な活動としての平和ではなく、市民自らが案内役になるとか、自分たちでツアールートを設定できるなど、広島に住んでいる人達も何らかの形で関与し続ける余地を残せるとよい。	平尾委員
広島市内の小・中学生の平和学習への取組が充分でないと聞く。それを解決することにより、広島を受け入れる側のおもてなしにつながるのではないか。	原田座長
人とのつながりは必要だが、広島で、例えば街角で出会った旅行者に良い情報を教えたりする人達を育成し得るのか、そういう人達がいるのかということも、もっと考える必要がある。	前田委員

第1回懇談会における意見を踏まえた ヒアリング等の調査について

平成27年 来広外国人観光客アンケート調査（抜粋）①

調査場所：広島平和記念資料館

調査日時：①平成27年5月22日(金)～5月24日(日)、②平成27年8月21日(金)～8月23日(日)
③平成27年10月9日(金)～10月11日(日)、④平成27年12月4日(金)～12月6日(日)
(調査時間は全て9時～16時)

回答者数：2,273人

(内訳)男性 1,231人(54.16%)、女性 987人(43.42%)、性別無回答 55人(2.42%)

- ・初めての来広の方は 92.63%で、2回以上の方は7.37%と、初めて訪問される方がほとんどとなっている。
- ・広島印象は「非常に良い」と「良い」を合わせると、98.42%であり、概ね良い印象を持たれている。
- ・6割の方が再訪したいと感じられている。

〈来広回数〉

初めて	2回以上
92.63%	7.37%

〈広島印象〉

非常に良い	良い	普通	悪い
61.94%	36.48%	1.49%	0.09%

〈再訪希望〉

はい	いいえ	わからない
65.39%	5.12%	29.49%

平成27年 来広外国人観光客アンケート調査（抜粋）②

- ・広島の旅行情報の入手先は、ホームページや紙媒体（本・雑誌・パンフレット）が多い。
- ・近郊での立ち寄り場所は半数程度が宮島となっている。
- ・市内滞在中に言葉に困った人が11.58%と最も多い。
- ・英字標識は概ねわかりやすいが、「通り」や「公共交通機関」のわかりにくさがある。
- ・市内滞在中の予算は、特定の金額帯への偏りはない。

〈広島の旅行情報の入手先〉

ホームページから	本や雑誌やパンフレットから	日本以外の友人から	旅行会社から	日本の友人から	観光案内所から	その他
53.67%	33.35%	14.78%	14.65%	14.12%	11.39%	8.45%

〈近郊での立ち寄り場所（複数回答あり）〉

場所	訪問率
宮島	53.01%
錦帯橋	3.48%
大和ミュージアム	1.89%
三段峡	0.75%
江田島	0.57%

〈市内滞在中に困ったこと〉

言葉	食べ物	宿泊施設	標識	交通機関	観光情報	電話	サービス	その他	なし
11.58%	2.24%	2.16%	1.54%	1.23%	1.14%	0.66%	0.35%	0.53%	78.57%

〈英字標識をどう思うか〉

	わかりやすい	わかりにくい
トイレ	97.95%	2.05%
公共交通機関	87.37%	12.63%
通り	78.68%	21.32%
観光地	96.16%	3.84%
ショッピングセンター	92.57%	7.43%

〈市内滞在中の予算〉

4,000円以下	4,001円～8,000円	8,001円～12,000円	12,001円～20,000円	20,001円～40,000円	40,001円以上
16.95%	12.34%	15.33%	19.26%	18.70%	17.42%

インタビュー・ヒアリング調査の対象（案）

今後、ピースツーリズム推進事業に資する意見や提案などを、幅広くいただくことを目的に実施してはどうか。各調査対象のスケジュールは以下のとおりを想定。

- 8月から順次、調査を実施。
- 専門家・有識者等、観光関係・旅行会社等へは、ルート案作成後に、その検討と併せて、調査を実施。

調査対象者等	7月		8月			9月			10月		
	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
外国人在住者			■	■							
ゲストハウス等			■	■							
平和・原爆関係の団体等					■	■	■				
行政機関等			■	■	■	■	■				
地元関係団体等			■	■	■	■	■				
専門家・有識者等						■	■	■	■	■	■
観光関係・旅行会社等						■	■	■	■	■	■

第2回ピースツーリズム推進懇談会

インタビュー・ヒアリング調査の対象（案）

➤ 外国人在住者及びゲストハウス等（案）

外国人の目線や外国人旅行者と直接応対する方から「ヒロシマ」をどのように捉えているのか、ピースツーリズムへのニーズを抽出するため、以下の項目について、次表の方々にヒアリングを実施してはどうか。

- 外国人旅行者がヒロシマで得たいものは何か、ヒロシマに期待することは何だと思えますか？
- 現状で、外国人旅行者はヒロシマで「得たいもの」を得られていると思えますか？不十分だと感じる理由は何だと思えますか？
- 世界の中でヒロシマに求められている役割やメッセージは何だと思えますか？
- ボストンのフリーダムトレイルのような取り組みについて、どのように思えますか？
- その他、ピースツーリズムについてご意見・ご提案があればお願いします。

〈ヒアリング対象〉

組織名称等	ヒアリング候補者	概要
NPO法人ピースカルチャービレッジ (前広島平和文化センター 理事長)	代表理事 スティーブン・リーパー	豊かさを問う交流の場として三次市甲奴町に「ピースカルチャービレッジ」(平和文化村)を開設。国内外から若者を招き、国際社会で持続可能な生活を実践するモデルとなることを目指している。
88house Hiroshima	オーナー 桃田 憲吾	昭和51年に建てられた平家を改装し、平成26年から東区馬木でゲストハウスを運営している。
広島ゲストハウス縁	取締役 佐藤 亮太	平成29年6月から横川商店街でゲストハウスを運営している。ビルの1階がBar、2階が宿泊施設。将来、旅行業の免許を取得し、着地型旅行商品の販売も行う予定である。
GetHiroshima (広島経済大学 助教)	編集長 ポール・ウォルシュ	平成12年にウェブ情報誌「GetHiroshima.com」を立ち上げる。大学講師を生業としつつ、インターネットを利用してコミュニティー作りを実践している。
広島市在住の詩人	アーサー・ビナード	アメリカ出身で、原爆ドームについて書いた「ドームかたり」など、平和をテーマにした作品を執筆している。

➤ 平和・原爆関係の団体等（案）

平和・原爆関係の団体の方へピースツーリズムを周知し、理解と協力を得るとともに、ピースツーリズムへのニーズを抽出するため、以下の項目について、次表の方々にヒアリングを実施してはどうか。

- 外国人旅行者に伝えたい「ヒロシマ」の思いは何だと思えますか？
- 平和都市として、過去の歴史だけでなく、これからの未来に対する「ヒロシマ」が担う役割は何だと思えますか？
- 貴団体等がピースツーリズムに対して協力できることはありますか？

〈ヒアリング対象〉

組織名称等	ヒアリング候補者	概要
平和のためのヒロシマ通訳者グループ	代表 小倉 桂子	平和記念公園等での英語によるガイドや、英語による被爆体験証言、被爆体験の通訳などを実施している。
株式会社 中国新聞社 (前ヒロシマ平和メディアセンター長)	論説副主幹 宮崎 智三	原爆・平和報道の蓄積や経験を基に、ウェブサイトと、朝刊に毎週掲載する「平和」のページにおいて、核兵器廃絶を目指して情報発信を行っている。
Peace Porter Project (広島市の被爆体験伝承者第1期生)	代表 保田 麻友	平和記念公園を訪れることが困難な被爆者等を対象に、青年ボランティアが8月6日に「とろうろ」の代理で流灯することによる、被爆体験の継承とヒロシマを知るきっかけづくりに取り組んでいる。
NPO法人これからの学びネットワーク	代表理事 堀江 清二	持続可能な社会をつくるために、複数の分野のテーマを総合的に学ぶことができる参加体験型の学びの場を企画運営しており、その一つとして、平和学習支援事業「ピースクリエイターになろう」を実施している。
公益財団法人広島YMCA	事務局長 中奥 岳生	社会教育団体・国際ボランティア団体として、青少年育成、ボランティア活動の推進、平和推進や国際交流・協力などを行っている。

行政機関等（案）

国際的な視点で「ヒロシマ」をどのように捉えているかを把握するため、以下の項目について、次表の方々にヒアリングを実施してはどうか。

- ピースツーリズムを通じて、「ヒロシマ」を伝える内容はどのようなものが望ましいと思われますか？
- ピースツーリズムを推進する上で、どのような情報発信が有効だと思われますか？

〈ヒアリング対象〉

組織名称	ヒアリング候補者	概要
国連訓練調査研究所（ユニタール）広島事務所	所長 隈元美穂子	2003年7月に開設され、主に紛争後の復興や世界遺産、安全保障に関する研修を実施している。
広島県 平和推進プロジェクト・チーム	担当課長 下崎 正浩	核兵器のない平和な国際社会を実現するため、核兵器廃絶のプロセスや復興・平和構築などの分野において、世界の中の広島として果たすべき使命と役割などを明記した「国際平和拠点ひろしま構想」を策定した。
公益財団法人広島平和文化センター	常務理事 岩崎 静二	広島での被爆体験を根底に据え、世界平和の推進と人類の福祉の増進に寄与することを目的として、幅広く平和推進及び国際交流・協力のための諸事業に取り組んでいる。

▶ 地元関係団体等（案）

地域への暮らしと仕事への影響を把握するため、以下の項目について、次表の方々にヒアリングを実施してはどうか。

- ピースツーリズム推進の取り組みへの期待と課題があれば御教示ください。

〈ヒアリング対象〉

組織名称等	ヒアリング候補者	概要
NPO法人セトラひろしま	理事長 若狭 利康	市民と商店街が連携したまちづくりNPOとして、市民の知恵や力、人材を積極的に取り入れながら、各種イベントの開催や文化振興、公共空間の美化や緑の環境づくりなど、広島を中心部でまちづくり活動を展開している。
広島青年会議所 市民パワー躍動委員会	委員長 田中 浩一郎	郷土を愛する市民を創出し、まちづくりの行動力を推進するための事業として、郷土愛サイクリングロード作成等に取り組んでいる。
ヒロシマピースボランティア	代表 橘 光生	平和記念資料館内の展示解説や、平和記念公園内を一緒に歩きながら解説を行っている。
広島市観光ボランティアガイド協会	会長 持永 芳孝	平和記念公園、広島城、縮景園、旧日本銀行広島支店などの観光案内活動を実施している。
一般社団法人日本ホテル協会 中国四国支部	事務局長 藤本 哲郎	全国約242のホテルが加盟している協会の中国四国支部であり、ホテル産業の発展に向けて、サービス水準の向上や利用促進のための活動を実施している。
広島市観光ホテル旅館組合	理事長 高田 秀穂	広島の宿泊施設で構成され、広島駅南口での案内窓口の運営などを行っている。
広島の宿 相生	女将 小田 富貴子	原爆ドーム東隣の旅館で修学旅行生の平和学習、体験学習を実施している。
公共交通事業者 (外国人周遊向け)	中国JRバス株式会社 運輸部 営業課 高橋雄介	外国人旅行者が多く利用する「めいぐる〜ぶ」を運行している。
公共交通事業者 (修学旅行等向け)	広島電鉄株式会社(広島観光コンベンションビューローへ出向) 佐伯 一夫	旅行者が利用する路面電車、バスを運行している

➤ 専門家・有識者等（案）

ルートの設定、ルート案内表記の設置等について、年齢、性別、国籍、障害の有無などにかかわらず安心できるルート設定を行うため、以下の項目について、次表の方々にヒアリングを実施してはどうか。

- 専門的な視点からのルート設定にかかるアドバイスを御教示ください。
- 歩行時間、歩行距離、路面状況、階段有無、急坂有無などへの必要な配慮を御教示ください。
- ルート内における公共施設・民間施設のサポートサービス（休憩、トイレなど）を御教示ください。

〈ヒアリング対象〉

組織名称	ヒアリング候補者	概要
国立大学法人 広島大学大学院 総合科学研究科	教授 フク・カロリン	専門分野は「観光地理学」。地理学の視点から観光を見る。観光地の発展、観光地が発展することで生じる問題、持続可能な観光を中心とした研究を作っている。
国立大学法人 広島大学大学院 総合科学研究科	教授 布川 弘	「ヒロシマの復興」をテーマに研究を行い、「ヒロシマ学」という講義を学生に教えている。
公立大学法人 県立広島大学 看護学科	准教授 狩谷 明美	老年学、老年看護学、医療倫理学、看護教育等を専門とする。ユニバーサルデザインの観点からの研究実績も有する。
公益社団法人 広島市身体障害者福祉団体連合会	事務局長 岡下 卓二	広島市内に居住する身体障害者の自立を促進し、文化、体育等の向上を目指し、社会参加と平等の基本理念に基づく福祉の推進を図り、社会の発展に寄与することを目的に活動している。

▶ 観光関係・旅行会社等（案）

インバウンド及び修学旅行を推進するため、以下の項目について、次表の方々にヒアリングを実施してはどうか。

- ピースツーリズムの国内・海外の観光関係団体・旅行会社等へのPR方法を御教示ください。
- インバウンド及び修学旅行におけるピースツーリズムの可能性（課題と期待など）を御教示ください。
- ピースツーリズムの実践における人材の確保・育成の方法を御教示ください。

〈ヒアリング対象〉

組織名称	ヒアリング候補者	概要
ジェイティビー 国内事業本部	法人事業部 観光戦略担当マネージャー 徳政 由美子	JTBグループ本社に設置された部署。JTBグループの観光戦略を担う。
JTBグローバルマーケティング &トラベル	中国四国営業所/地域誘 客戦略推進室 地域コーディネーター 大崎 慶司	JTBグループのグローバルビジネスを担う企業。企業に対するアジアのMICEソリューション、訪日マーケットに対する付加価値型旅行、外国人向けパッケージツアーの造成・販促、富裕層マーケットに特化した営業等を行っている。
公益財団法人日本修学旅行 協会	常務理事 事務局長 青木 正史	教育旅行の実態調査、研究発表会の開催、月刊誌「教育旅行」、データブック「教育旅行年報」などの発行を行い、教育旅行等の発展を目指す。
一般社団法人日本旅行業協 会中四国支部	副支部長 船場 誠吾	観光旅行の促進と観光事業の発展に向けた活動を行う旅行業者団体として観光事業者等への支援や連携を推進している。

ピースツーリズム推進の目指す姿の方向性(案)

- 国内外からの来訪者に、被爆の実相を伝えることを基本としつつ、復興してきた広島足跡、被爆前からの歴史や文化などを発信し、広島の平和への取組をより多くの来訪者に伝え、より深い理解に結び付け、平和への思いの共有を図っていく。
- そのために、広島の平和に関する様々なテーマに触れることのできる複数のルートを設定し、ARコンテンツのみならず、それらを市民と触れ合いながら巡ってもらおう。

今後の検討の方向性について（案）

～「平和」への思いの共有と被爆の実相を守り、広め、伝えるための情報発信について～

- 外国人旅行者、修学旅行生を対象に、多くの方々の広島への訪問を促し、被爆の実相を知り、平和への思いを共有していただくために、バーチャル・リアル両面での効果的な発信方法・内容を検討する。

～「平和」をテーマとしたルート設定や「平和」に関連する施設等について～

- 被爆の実相の理解を深めていただくことを基本に置き、復興してきた足跡や歴史・文化なども理解していただける施設や場を巡るルートを検討する。
その際、関連の施設や場を巡るだけでなく、平和について考えることができる場、休息の場なども含め、旅行者に伝えたいテーマを感じていただける、かつ、旅行者が巡りやすいルートを検討する。
ルートの検討に際しては、1つのルートに限らず、伝えたいテーマ、地理的な範囲、移動手段等を考慮した複数のルートを検討する。

～世界の多くの方々を迎える「市民」の積極的な関与について～

- 旅行者と市民の双方が関与できるピースツーリズムを目指し、心が動かされる関与方法を検討する。

第2回ピースツーリズム推進懇談会の 意見交換テーマ

- (1) 前回懇談会の意見交換を踏まえた目指す姿の方向性(案)や今後の検討の方向性(案)にかかる意見・提案**
- (2) 前回懇談会以降に思いつかれた施設や場所（「場」）の提案
(参考資料)P6、P7に記載の「平和関連の施設や場所（「場）」の一覧表及び位置図**
- (3) その他意見交換**

次回懇談会の日程

9月4日(月)から9月15日(金)の間で実施予定

後日、事務局から日程調整の連絡